

令和元年度水質事故発生状況

第1四半期発生状況

発生月日		水系	支川等	市町村	事故区分			原因	事故の概要	
月	日				魚死亡	油浮遊	その他			
										内容
4	2	相模川(甲)	宮沢川	愛川町			○	白濁	不明	宮沢川で白濁しているとの通報があり、町が現地確認を行ったところ、白濁水(無臭)の流入を確認した。油膜は確認されなかったが、予防のためオイルフェンスを設置した。翌日、白濁水の河川への流入が止まったため、原因不明で対応を終了した。
5	13	相模川(乙)	目久尻川	綾瀬市			○	白濁	不明	目久尻川が白濁していると通報があり、市が現地確認を行ったところ、白濁を確認した。一方、生物の死亡や臭いはなかった。周辺事業所を調査したが、原因者の特定には至らなかった。その後、河川の白濁が確認されなくなったため、原因不明で対応を終了した。
6	11	相模湾		鎌倉市			○	下水流出	事業者	海に下水が流出しているとの通報があり、市が現地確認を行い、下水の流出を確認した。前日降った雨水が污水管へ流入し溢れたことが原因であり、市が下水道幹線及び雨水管の消毒処理を行った。市への事故対策及び報告の指導は継続するが、海への下水の流出が止まったため、対応を終了した。
6	18	葛川(乙)	不動川	大磯町			○	白濁	不明	不動川で白濁があるとの通報があり、県と町が現場確認を行ったところ、白い浮遊物及び発泡を確認した。水質検査結果に異常はなく、魚類にも異常がなかった。その後、浮遊物や発泡は消滅し、上流からの流入も止まったため、原因不明で対応を終了した。

第2四半期発生状況

発生月日		水系	支川等	市町村	事故区分			原因	事故の概要	
月	日				魚死亡	油浮遊	その他			
										内容
7	5	金目川(甲)		秦野市			○	泡浮遊	事業者	金目川に泡浮遊があるとの通報があり、市が現場確認を行ったところ、大量の泡浮遊を確認したため、上流の調査を行い、工事現場の排水口に泡浮遊を確認した。市及び県が立入調査を実施したところ、工事で使用する薬剤により泡が発生していたが、消泡剤の量が不十分であったことが判明した。事業者に対して、消泡剤の安全性を確認するとともに、適正量の使用を指導した。その後、工事現場での消泡剤の使用量が改善され、河川に異常が認められなくなったため、対応を終了した。
7	11	相模川(乙)	一之宮路第1排水	寒川町			○	白濁	事業者	事業所の防錆塗装に使用した塗料が雨水と混ざり、排水路に流出したと事業者から通報があった。町が現地確認を行ったところ、事業場内の側溝に白濁を確認し、事業者が回収処置を行っていた。町及び県が事業者に聞き取りを行い、乾燥不十分の塗料が降雨により剥離・流出したことが原因であり、塗料は有害な物質を含まないものであることを確認した。原因者による処置及び回収が完了したことから、対応を終了した。
7	12	森戸川(乙)	酒匂堰	大井町			○	白濁	不明	酒匂堰が白濁しているとの連絡があり、町が現場確認を行ったところ、白濁を確認したが、死亡魚や臭気は確認されなかった。上流を調査したが、白濁は確認されず、原因は特定できなかった。その後、白濁の流入がなくなったため、原因不明で対応を終了した。
7	18	酒匂川(甲)	狩川	南足柄市			○	白濁	不明	事業者から事業所付近の水路が白濁しているとの通報があり、市が現地確認を行ったところ、白濁を確認したが、短時間で解消した。水路上流を調査したが、原因は特定できなかった。水質検査に異常はなく、臭気や死亡魚もなかった。その後、同一箇所でも再び白濁が確認されたが、周辺河川に異常はなかったため、原因不明で対応を終了した。

8	1	金目川(甲)		秦野市			○	白濁	工事業者	金目川が白濁しているとの通報があり、市が現地確認を行ったところ、白濁を確認した。上流に工事現場があり、県が立入検査を実施したところ、工事現場で発生する水の放流口周辺の定期清掃時にセメント由来の沈殿物が河川に流出したことが判明した。排水処理施設及び排出水に異常のないことを確認し、併せて定期清掃のタイミングや周期について指導を行った。その後、清掃が実施され、再発防止措置が取られたことから、対応を終了した。
8	8	境川(乙)	柏尾川(台川)	鎌倉市			○	セメント流出	工事業者	工事業者が道路の側溝にセメントを投棄しているとの通報があり、市が現地確認を行ったところ、現地付近の側溝に白いセメント(モルタル)を確認した。現地で水路を工事中の工事業者に確認したところ、堰き止めた水路の水が排水用ポンプの故障により堰を超え、敷設したモルタルを通過し、下水路に流れたとの報告を受けた。工事業者により水路の清掃が実施され、河川への影響がなくなったことから、対応を終了した。
8	23	相模湾	美奈能瀬川	鎌倉市			○	白濁	工事業者	道路の側溝に白濁した水があるとの連絡を受け、市が現地確認を行ったところ、側溝に白濁水を確認した。周辺を調査したところ、付近の工事業者がペンキ用刷毛の洗いを側溝に投棄したことを確認したので、工事業者に側溝の清掃を指導した。側溝の清掃が実施され、新たな白濁水の流出もないことから、対応を終了した。
8	26	相模湾		葉山町			○	茶濁	工事業者	海岸が茶濁しているとの通報があり、町が現地確認を行ったところ、海へ流出する茶濁水を確認した。付近に工事現場があり、県が立入検査を行ったところ、事業者から工事中に発生した濁水が貯留中に流出したとの報告を受けた。このため、工事により発生する濁水の処理方法について指導を行った。その後、濁水の処理方法の改善が実施され、濁水が排出されなくなったことから、対応を終了した。
8	30	葛川(乙)		二宮町			○	泡浮遊	不明	葛川に泡浮遊があるとの通報があり、町が現地確認を行ったところ、洗剤臭がする泡の浮遊を確認した。泡の継続的な流入はなく、簡易水質検査で異常は認められなかった。県及び町が上流調査及び周辺事業所への聞き取りを実施したが、原因の特定には至らなかった。泡の流入がなくなり、浮遊した泡もなくなったため、原因不明で対応を終了した。
9	12	相模川(甲)	中津川	厚木市			○	異臭	事業者	中津川付近で異臭がするとの通報があり、河川に接続している用水路にて異臭(アンモニア臭)を確認した。市が周辺事業所に立入確認を実施したところ、事業所の雨水管で異臭を確認したため、雨水管からの排水の禁止と原因究明、改善策の報告を事業者に指導した。その後、指導により公共用水域への流出がなくなったことから、対応を終了した。
9	13	引地川(乙)	蓼川	綾瀬市			○	着色	不明	蓼川が緑色に着色しているとの通報があり、市が現地確認を行ったところ、緑色の着色を確認したが、異臭や魚の死亡は確認されなかった。着色は一過性であり、新たな流入もないことから、原因不明で対応を終了した。
9	13	葛川(乙)	打越川	二宮町			○	泡浮遊	事業者	葛川と打越川の合流地点に泡浮遊があるとの通報があり、町が現地確認を行ったところ、打越川からの泡の流入を確認した。町及び県が打越川上流を調査したところ、事業者が消火用薬剤を側溝に流したことが原因であると判明したため、原因者に対し、泡の回収を指示した。その後、泡の回収が実施され、河川に異常が認められなくなったため、対応を終了した。

第3四半期発生状況

発生日		水系	支川等	市町村	事故区分			原因	事故の概要	
月	日				魚死亡	油浮遊	その他内容			
10	12	芦ノ湖		箱根町			○	汚水流出	自然災害	町から県に、台風による降雨の影響で、町の汚水処理用ポンプ場が水没したため、汚水を付近の河川を通じて芦ノ湖へ緊急放流したとの連絡があった。町は汚水の消毒処理を開始するとともに、水没したポンプの修理を行った。その後、ポンプの修理が完了したことから汚水の排出を停止した。町が河川の清掃を行い、油膜や白濁等のないことを確認したことから、本件の対応を終了した。

10	21	酒匂川(甲)	狩川	南足柄市			○	汚水流出	事業者	事業者から市に、シャンプー入りのドラム缶が倒れ、流出したものを回収したのち、洗浄したところ、一部が用水路に流出したとの通報があった。市が現地確認を行ったところ、用水路に薄い膜の浮遊を確認したが、下流では泡の浮遊は確認されなかった。また、取水管理事務所が用水路及び下流の河川にて現地確認を行い、取水に影響のないことを確認した。新たな流出がないことから、本件の対応を終了した。
12	7	酒匂川(甲)	濁沢	秦野市			○	濁水	事業者	県民から市に「新東名高速道路菅沼トンネル付近から濁水が流出している」と通報が入った。市の現場確認の結果、河川に堆積物を確認したが、簡易水質測定にて異常値は確認できなかった。原因調査の結果、新東名高速道路菅沼トンネル工事作業所が排水処理量を上回る排水を排出したことを確認したため、工事の中止、河川に流出した堆積物の回等を指導した。その後、河川の清掃等が適切に完了し、また、放流水の水質に問題がないことを確認したことから、本件の対応を終了した。
12	16	相模川(乙)	目久尻川	綾瀬市、海老名市			○	着色水	事業者	県土木事務所から綾瀬市に「虚久蔵橋の下の排水口からグレーの着色水が流れている」と通報があった。市が現場確認したところ、着色水を確認したが、魚死亡等は確認できなかった。上流(海老名市)調査をもとに、綾瀬市及び海老名市が周辺事業所に立入検査したところ、事業所の井戸水の循環装置等のバルブ故障により、旧工程排水管の汚れが流出したことが判明した。事業者が後日雨水管等に滞留する汚水をバキューム清掃し、新たな汚水が流出しないことを確認したため、本件の対応を終了した。
12	20	金目川(甲)		秦野市			○	白濁	事業者	県民から市に「中丸橋付近で川が白濁している」と通報があった。県及び市の現場確認の結果、新東名高速道路高取山トンネル西工事作業所の最終排水口のフィルターの不備により、工事現場内で発生した凝集浮遊物が流出したことが原因であることを確認した。フィルターの整備及び河川の清掃を指導したが、後日現場確認したところ、再び堆積が発生していることを確認したため、再度適正な排水処理及び原因究明を指導した。本件については、現在まで事業者による河川の清掃が継続している。

第4四半期発生状況

発生日		水系	支川等	市町村	事故区分			原因	事故の概要	
月	日				魚死亡	油浮遊	その他内容			
2	10	酒匂川(乙)	下菊川	小田原市			○	発泡	事業者	「下菊川で洗剤のようなものが流れ一帯が白く泡立っている。」と県民から県に連絡が入った。市が現地確認したところ、付近の事業所の駐車場にある泡消火設備が誤作動し、その泡が雨水側溝を通じて河川に流出したことが原因であることを確認した。確認の結果、新たな泡等の流出がないことを確認したことから、本件の対応を終了した。
2	10	金目川(甲)		秦野市			○	濁水	事業者	「中丸橋付近で川が白濁している。」と県民から市に通報があった。市が現地確認したところ、河川の白濁を確認し、上流の新東名高速道路高取山西トンネル工事に係る事業所から未処理の排水が河川へ流出したことを確認した。事業所の原水槽とろ過装置の間のバルブの締め付けが不十分であることが原因であったため、事業者は適切に調整して更なる汚水流出を防止し、トンネルの掘削工事を停止した。本件については、事業者に対する県及び市の指導を継続している。
2	18	金目川(甲)		秦野市			○	白濁	事業者	「パトロールしていたところ、高取山西トンネル工事に係る事業所から中丸沢に白濁水が流出していた。」と市から県に連絡があった。事業者に確認したところ、事業所内のろ過装置の漏電により汚水が場内にあふれたことを確認したため、河川等を清掃するよう指導した。本件については、現在まで事業者による河川の清掃を継続している。
3	11	酒匂川(甲)	狩川	南足柄市			○	白濁	不明	「狩川と上総川の合流地点で川が白濁している。」と県民から市に連絡が入った。市が現地確認したところ、付近の狩川に、ペンキを塗るためのローラースポンジが捨てられており、そのスポンジにインクのようなものが染み込んでいたことが白濁の原因と判明した。臭気、水生生物の死亡等は確認されず、市が原因物を回収し新たな流出の恐れがないことから、本件の対応を終了した。

3	25	金目川（甲）	水無川	秦野市			○	白濁	事業者	「水無川の水無瀬橋下流付近の排水口から白い水が流入している。」と県民から市に連絡が入った。市が現地確認したところ、付近の事業所から流入した可能性が高いことが判明した。当該事業所の排水系統を確認したところ、米のとき汁が付着した釜等の洗浄水を流している洗い場の下水排水管が老朽化しており、排水が雨水枡から河川へ流出していることを確認した。事業者に対しては、雨水系統に排水が流れる洗い場は使用しないこと、河川に流出した白濁水を回収することを指導した。後日、清掃が完了し、河川への影響がないことも確認されたことから、本件の対応を終了した。
3	27	酒匂川（甲）	洞川	南足柄市			○	汚水流出	事業者	「事業者から、工程系の未処理水と思われる水が水路に流出していると市に連絡が入った。」と市から県に連絡が入った。汚水を排水処理設備に入れる前にピットがあり、ピットから設備に入れるためのポンプが故障し、ピットの汚水がオーバーフローして工場横の水路に流出したことが原因であると確認したため、工場を停止し、放流も停止し、その後速やかに故障したポンプの入れ替えを行い、水路への流出を停止した。現場周辺等の3地点で採水も行い、特に異常は確認されなかった。流出物は工場横の水路から、下流にある洞川調整池、洞川という順序で流出したと推定されるが、翌日、調整池と洞川の状況に異常は無く、新たな流出もないことから、本件の対応を終了した。